

報道発表資料の配付日時 10月5日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和5年度北海道防災総合訓練(前期)の実施について		
記者レクチャー のお知らせ		発表者	
概要	<p>道では、毎年度、北海道地域防災計画に基づき、北海道防災会議が主唱する北海道総合防災訓練を実施しています。 この度、前期訓練を次のとおり実施しますのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>主催・共催 主催：北海道防災会議(会長 北海道知事) 共催：日高振興局管内7町</li> <li>実施日時・場所 (1) 日時 令和5年10月15日(日) 午前8時00分～午後1時00分まで (2) 場所 ・メイン会場(道が実施主体) 日高町、平取町、新冠町 ・一般会場(町が実施主体) 浦河町、様似町、えりも町、新ひだか町</li> <li>訓練想定 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震(十勝沖を震源とするマグニチュード8を超える地震)に伴い、太平洋沿岸地域に大津波が発生</li> <li>主な訓練内容 ※詳細は別添資料をご覧ください。 情報伝達訓練、住民避難訓練、避難所運営訓練、情報収集訓練、広域避難訓練、物資輸送訓練、救出救助訓練、医療救護訓練</li> <li>参加機関(約40機関) ・道防災会議構成機関：道警、陸上自衛隊北部方面隊、北海道開発局、NTTドコモ、北電、(公社)道トラック協会等 ・災害時協定締結企業：イオン北海道、北海道コカ・コーラボトリング、セコマ等</li> <li>訓練のポイント ・情報収集及び救出救助訓練等において、6関係機関の所有するヘリ・ドローンが同一空域で安全に活動できるよう、現地に臨時のヘリ等運航調整所を開設し、統制を実施(複数のヘリとドローンを実際に飛ばし、<u>運航管理システム</u>を使用して運航調整する訓練は日本初。) ・住民避難訓練において、道総研建築研究本部の協力のもと、一部避難者にGPSを保持させて、避難に要した時間、移動速度等を測定し、検証・分析に活用</li> </ol>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の発生が切迫し、地域における防災対策への関心が高まっていることから、当日取材をいただき、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当(連絡先)	総務部危機対策局危機対策課(担当者：課長補佐 葛西 危機対策企画幹 坂口) TEL ダイヤルイン 011-204-5008(内線22-588、22-558) 公用スマホ 011-585-6240、011-585-6212		